

早稲田大学大学院アジア太平洋研究科

博士論文審査報告書

論 文 題 目

原題名 Original Title	ASEAN REGIONAL INTEGRATION IN HIGHER EDUCATION: INSTITUTIONAL RESPONSES AND STUDENT PERSPECTIVES IN THE PHILIPPINES
英訳 In Japanese	高等教育における ASEAN 地域統合：大学の対応と学生の観点

申 請 者

氏 名 Name	姓 Last Name	Middle Name	名 First Name
	Berse	Preciousa P.	Pilar
学籍番号 Student ID	4010 S 308		

2019年 7月

1. 本論文の主旨

本研究は、地域統合における高等教育の役割と可能性を概念化し、特に学生の視点からの実証的な分析を行うため、ASEAN 統合におけるフィリピンの一私立大学を事例として行われた研究である。地域統合と高等教育をめぐっては、ヨーロッパの地域統合過程において相当の研究蓄積があるが、2000 年代にはアジア、特に地域的枠組みの形成が顕著な東南アジアにおいて活発な研究がおこなわれてきた。本研究は、そうした既存研究を踏まえつつ、これまでの研究の多くが対象として来なかった学生の立場や見方に着目し、高等教育から地域統合へのボトムアップのプロセスを重視しながら、実施された。具体的には、フィリピンにおいて代表的な位置づけにある私立大学のランダムに抽出された 35 のクラスの学生に対して、学生のASEAN及びASEAN統合への知識や意見、教育プログラムや留学・就職への希望に関する質問紙調査を行い、354 の回答を得た。この質問紙調査の回答を中心に、教育政策担当者、大学教員、大学職員、学生などへの数多くのインタビュー結果をデータとして、混合分析法によるデータ解析を行った。本研究の主たる貢献は、ASEANへの域内留学やASEAN関連の講義の受講がどのように学生のASEANやASEAN統合に対する知識・意見や域内での留学・就労への意向に影響を与えているかを明らかにしたことにある。また、こうした実証研究を基として大学としての地域統合に関する教育プログラムや域内留学の整備、域内の高等教育機関と連携について、その可能性と方向性が示された。

2. 本論文の構成と概要

第1章「Introduction」では、地域統合と高等教育の関係性、特にASEAN地域統合における域内高等教育の対応について、歴史的に外観がなされ、その上で、本研究の背景・意義・目的・研究設問、研究枠組みと研究方法の概要が示されている。

第2章「Review of Related Literature」では、まず地域統合論の理論的展開と、そのなかでのASEAN統合の位置づけ、特にヨーロッパとアジアの比較地域統合論について概説されたのち、地域統合と高等教育の関係についての既存研究について、東南アジア、東アジア、アジア太平洋の重層的な観点から整理を行い、そのうえで、研究視角の提示がなされた。

第3章「Context of the Study」では、2章に続き、東南アジアの高等教育の地域的調和化、特にASEAN域内の資格枠組みの統合や高等教育の質保証、単位互換の調和化について、歴史的な展開を概説し、この動きに対するフィリピンの対応が、フィリピンの高等教育システムの状況とともに説明された。

第4章「Methodology」では、本研究のための方法論として、本研究が学生、大学の教職員、政府関係者の三者を対象として、質問紙調査、インタビュー調査、政策文書や大学関係文書などの分析の3つの研究手法で、質的・量的を統合した分析手法で実施されたことが説明された。また、研究者としての立ち位置や倫理的な課題とその解決策などについても、本章で詳述されている。

第5章「Institutional Responses to Regional Intergration」では、本研究の事例対象となったフィリピンの代表的私立大学について概説したうえで、この大学のASEAN統合への対応、取り組み、講座・関連教育プログラム、留学プログラムなどについて説明され、これらへの学生の参加・受講状況が説明されている。

第6章「Students' Knowledge and Perspectives about ASEAN Regional Integration」では、本研究の主要な調査結果として、学生への質問紙調査とインタビュー調査から、学生のASEANに関する知識、ASEAN市民としての意識、ASEANに対する見方の蓋然的な状況を明らかにし、言語能力、旅行の経験、社会経済的状况などからその要因を分析している。

第7章「Prospects for Mobility within ASEAN」では、本研究のもう一つの調査結果として、本研究のデータ分析によって明らかになった学生の留学先・就労先への志向・希望と、その要因、留学先と就労先の関係などが分析されている。

最後に、第8章「Conclusion」では、本研究を総括して、域内大学のASEAN統合への対応、学生から見たアジア地域統合、留学と就労先としてのASEAN域内などについて、調査結果を基とした議論がなされ、その上で、具体的な政策提言と将来の研究についての提案がなされている。

3. 口述試験での質疑応答

本論文審査委員会は、申請者から提出された学位請求論文を査読し、2019年1月28日に2時間余にわたり口述試験を実施した。委員会からの主たる助言、修正要求の論点は以下の通りである。

(1) 地域統合と高等教育の関係性を問う大きな研究視角と、学生のASEANに対する知識や態度、及びその要因というこの研究で明らかになった事象の間の関係をより論理的に説明し、これが地域統合・国際高等教育研究にとってどのような意味・学術的意義をもつのかを明らかにすべきである。そして、これを主要な研究課題の一つとして、加えるべきである。

(2) ASEAN Community という表現と ASEAN Society という表現を統一すべきである。

(3) ASEANの独自性、特にヨーロッパ統合との比較における独自性について、本研究の貢献を明らかにすべきである。

(4) フィリピンのASEAN統合への立ち位置を歴史的に明らかにしたうえで、高等教育の対応を議論すべきである。

(5) ASEANの中での域内留学などについて、より実効性のある取り組みを挙げて、説明すべきである。

(6) 質問紙調査の結果をより深く議論するため、重回帰分析等、他の統計的手法の活用を考慮すべきである。

(7) 質問紙調査の「Regional Organizations」について、より注意深い検討をすべきである。

(8) ASEAN関連授業の受講は、学生のももとの関心の高さを反映している可能性があるため、因果の検証を注意深く検討すべきである。

(9) 質的手法を用いて行われたインタビュー結果の分析を独立した章で行うべきである。

(10) 地域統合における学問分野別の関わり、特に社会科学の役割について議論が行われるべきである。

口述試験では、以上の指摘や質問に関して回答が示され、修正すべき点については、最終提出までに適切に修正することとなった。審査委員会は修正意見に対する対応表とともに、修正が適切になされていることを確認した。

4. 評価と審査結果

以上のように本論文は、ASEAN地域統合への高等教育の対応に焦点を当て、フィリピンにおける代表的私立大学を事例に、実証的・理論的に考察したものである。これまでのアジアにおける地域統合と高等教育研究では、政策的視点や大学の組織的視点が重視され、学生の視点からの研究については、蓄積が乏しかった。本研究は学生の視点からの高等教育と地域統合をボトムアップのプロセスとして実証することに成功しており、これは本研究の大きな学術的貢献として評価できる。口述試験の内容を踏まえ、論文に関して慎重かつ総合的に審査を行なった結果、博士学位請求論文としての水準を満たしているものと判断し、これを受理することに全委員が合意した。

申請者名: Pilar Preciousa P. Berse

博士論文審査委員会

主査 Chief Examiner:

氏名 Name: 黒田一雄 (印)(Signature)

所属 Affiliation: 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科

職位 Title: 教授

学位 Degree: Ph.D. in Education 取得大学 Conferred by: コーネル大学

専門分野 Specialty: 比較国際教育学

副査 Head Deputy Examiner:

氏名 Name: Gracia Liu-Farrer (印)(Signature)

所属 Affiliation: 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科

職位 Title: 教授

学位 Degree: Ph.D. in Sociology

取得大学 Conferred by: シカゴ大学

専門分野 Specialty: 社会学

副査 Deputy Examiner:

氏名 Name: 中嶋聖雄 (印)(Signature)

所属 Affiliation: 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科

職位 Title: 准教授

学位 Degree: Ph.D. in Sociology

取得大学 Conferred by: カリフォルニア大学バークレー校

専門分野 Specialty: 社会学

副査 Deputy Examiner:

氏名 Name: 平川幸子 (印)(Signature)

所属 Affiliation: 早稲田大学留学センター

職位 Title: 准教授

学位 Degree: 博士(学術)

取得大学 Conferred by: 早稲田大学

専門分野 Specialty: 国際関係論

2019年 1 月 28 日